



育成推進室 赤松氏



機能訓練員 森兼氏



スマートフィット
テープ止めタイプ

リフレスマートラインのテープ止めタイプ、スマートフィットをお使いいただいている、岡山県倉敷市の「社会福祉法人 淳邦会 特別養護老人ホーム のぞみ荘」様にご訪問させていただきました。母体である淳邦会では特別養護老人ホーム、ケアハウス、デイサービスセンター、グループホーム、居宅介護支援事業所などの個人の意思を尊重した質の高いサービスを提供するとともに、優秀な福祉人材を育成する育成推進室の設置など、職員教育にも力を入れています。今回はスマートフィットの採用の経緯から、現在のご使用状況を含めて、育成推進室の赤松さん、機能訓練員の森兼さんにインタビューしました。

伸縮性の高い

スマートフィット テープ止めタイプ

導入いただくまでの経緯を 教えてくださいませんか？

森兼 「実は紙おむつの導入が今回初めてで、これまでは布おむつを使用していました。今年の4月から施設の方針で紙おむつを導入することになり、リフレサポーターさんに商品のご相談をさせていただいたところ、スマートフィットをご紹介いただきました」



赤松 「今まで布おむつを使用していたので紙おむつ初心者が多かったのですが、リフレサポーターさんの勉強会を実施していただいた後、スマートフィットを試してみると、モレも減り、更衣も楽になりました」

布おむつからの切り替えは大変だった と思いますが、職員の方はどのように 取り組まれたのでしょうか？

赤松 「元々は時間、労力削減を目的に紙おむつ導入に取り組んだのですが、職員からは切り替えがうまくいかず、現場で混乱がおきるのではないかと不安がありました。しかし、排泄委員会のメンバーが熱心に取り組んだおかげで、2か月ほどの導入期間を経て切り替えに成功しました」

森兼 「導入する前にリフレサポーターさんからおむつの構造やあて方の勉強会を実施していただいて、アウターを従来のテープ止めタイプかスマートフィットかで議論しました。スマートフィットを最初に見た印象

はうすくて、職員からは不安の声が出ていましたが、ソケイ部にフィットしやすいのでモレが減るし、更衣も楽になるとご紹介いただいたので、スマートフィットで切り替えをすすめることになりました」

誰にでもあてやすい スマートフィット

スマートフィットを試された 印象はどうでしたか？

森兼 「伸縮性があるので誰にでもフィットさせやすいところが気に入りました。おむつのあて方も最初は戸惑いましたが、慣れてくると布おむつよりも簡単に交換できるので、更衣全体が楽になりました。以前は布おむつの分厚さもあってソケイ部にうまくフィットせず、股関節の可動域の妨げにもなっていたのですが、スマートフィットに切り替えてからは装着後もスリムで、ご利用者さんにしっかりフィットしていましたね」

赤松 「スマートフィットを導入してからは全体的にモレが減ったので、ご利用者さんも安心して睡眠をとれるようになりました。職員もモレが減ることによって業務時間が削減できたので、その他の業務を丁寧に行えて、コミュニケーションを取る時間が増えたように感じます。導入当初は切り替えに不安だった職員も、実際にモレが減ったことが自信になったのか、今は安心して使用しています」



排泄委員会の主体的な 取り組みについて

その他にスマートフィットを使用して、 現場に変化はありましたか？

森兼 「拘縮の方にもあてやすく、通気性が良いので臀部のスキントラブル予防にも効果があったように感じます。職員がケアの質を上げたいという意識があって、排泄委員会ではご利用者さんへのフィッティングの共有はもちろん、布おむつから紙おむつに切り替えることによる使用量の変化や業務工程の変化についても議論しました。結果としてスマートフィットを使用することでご利用者さんが快適に過ごせることにつながるだけでなく、職員の業務負担の軽減にも成功しましたね」

今後の施設の目標はありますか？

赤松 「当施設では育成推進室を設置し、人材育成に取り組んでいます。人材難といわれる時代だからこそ育成にも力を入れるべきだと考えていて、ご利用者さんだけでなく職員からも選ばれる施設を目指しています。今回の紙おむつの導入についても、排泄委員会のメンバーの主体的な取り組みが成功につながったと考えていて、今後も新しいものを取り入れて、職員が主体的に考える機会、視野を広げる機会をつくっていききたいですね」



今後もスマートラインシリーズをお試しいただける機会が増えることを楽しみにしています♪
本日は色々とお話を聞かせていただき、ありがとうございました！